

## アジアの風（アジア関係図書館便り）

### 「ニッポナリア」とは

棕梨 景智



本学図書館の分館であるアジア関係図書館は9号館の2階にあります。主に中国語の和書・洋書、コリア関係図書、アジア関係図書、そしてヨーロッパ言語で書かれた日本研究資料コレクションの「ニッポナリア」、さらには留学生向けの日本語図書など、約10万冊が所蔵されており、アジア研究の拠点となっています。

その中でも、「ニッポナリア」、すなわち日本研究資料は約1万5千冊にのぼり、本学図書館の極めて特徴的なコレクションといえます。この資料を見ると、外国の研究者から見た日本の捉え方には、幅広いものがあり、われわれ一般の日本人よりも、文化や文学などを理解した人が多くいることがわかります。例えば、フランスの日本学者であるベルナール・フランク教授は、「宗教と文学の鏡を通してフランスから見た日本」と題する研究の中で、「うきよ」が「浮世」であり、「憂き世」でもあることを指摘します。そして、中国にも「浮世」という言葉があり、この言葉が日本に伝わる前から、日本人には「世の中は憂い多いものとする」考え方があったと言います。これは、日本独自の伝統と外来的なものとの関係を考える場合、その違いの見分けを慎重にすべきであることを俯瞰的な観点から教えてくれているのです。

私たちが真の「国際人」を目指すためには、自国文化の理解は不可欠であり、あなたにとってより良い資料を「ニッポナリア」の資料群から探してみませんか。

むくなし かげとも（司書教諭・主幹）



## 京都国連寄託図書館からのお知らせ

☆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため9月末迄閉館していましたが、その間、ホームページに掲載している所蔵資料を整理し配架場所の標記を簡略化することで、利用者の方が探しやすいよう工夫しました。

☆附属図書館ホームページに、新しく200冊以上の和書を整理しました。京都国連寄託図書館としての総資料数は、約6万冊になります。（令和2年10月7日更新）

☆秋学期からは、館内閲覧用国連関係雑誌棚と配布用国連関係資料棚を設置しています。雑誌棚には、今年のノーベル平和賞が国際連合世界食糧計画（WFP）に授与されることが発表されました。これを受け、本館でも特集コーナーを設置しました。どうぞご覧ください。

お願い：国連資料は特殊な資料です。お探しの資料の記号・番号やお調べになりたいテーマなど、ご利用前にEメール等でご連絡いただくと、速やかなご案内ができます。

京都国連寄託図書館担当  
藤田 眞壽美（司書・主事）



館内閲覧用雑誌棚



館内配布用資料棚